

発行所 公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会  
事務局 地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部 滋賀県大津市本宮2-9-9  
発行責任者 大本和由 滋臨技ホームページURL <https://samt.securesite.jp>



### ◇目次◇

創立70周年・法人設立40御礼周年記念式典・祝賀会御礼	2
創立70周年・法人設立40御礼周年記念式典 知事表彰受賞	3
第47回滋賀県医学検査学会を終えて / いぶき賞を受賞して	4
第47回県滋賀県医学検査学会を終えて	5
令和6年度公衆衛生事業功労者表彰	9
令和7年度(2025年)滋賀県臨床検査技師会 事業計画	10
令和7年1月定例理事会報告 / 令和7年2月定例理事会報告 / 会員動向	11
新型インフルエンザ等感染症を見据えた検体採取研修会(実地研修)について	12

## 令和7年2月11日開催 創立70周年法人設立40周年記念式典・祝賀会 創立70周年・法人設立40周年記念式典・祝賀会御礼

【参加人数】 式典126名(会員62名、賛助会員36名、来賓27名、お子様1名)  
祝賀会124名(会員62名、賛助会員36名、来賓25名、お子様1名)

公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会 会長 大本 和 由



去る2月11日に、滋賀県臨床検査技師会(以下、当会)は創立70周年、法人設立40周年記念式典および祝賀会をクサツエストピアホテルで盛會裏に開催させていただきました。

これも滋賀県をはじめ、関係各団体の方々、さらには当会の発展にご尽力された諸先輩方、現会員の方々、全ての関係各位のご指導、ご支援をいただいたことのおかげであると思います。心より感謝申し上げます。

そして式典の席上、滋賀県知事より5名の方々(西尾久明さま、瀧井さち子さま、大森康旨さま、北川勇一さま、吉田正明さま)、に表彰状の授与があり、さらに当会からは永年功労表彰の4名(内林佐知子さま、小寺あおいさま、笠井晴生さま、西村好博さま)、学術功労の6名(古谷善澄さま、林 裕司さま、新井未来さま、近澤秀己さま、吉田章子さま、山下朋子さま)、特別功労感謝として吉田 孝さま、会長感謝として株式会社アルフレッサさまに滋賀県臨床検査技師会より表彰状の授与をさせていただきました。本当におめでとうございます。

当会は昭和29年6月に会員数25名の「日本衛生検査協会滋賀県支部」としてスタートしました。昭和52年4月に会の名称を「滋賀県臨床衛生検査技師会」と改め、昭和59年3月には、社団法人の認可を受けることができました。平成19年10月には「滋賀県臨床検査技師会」と名称を変更し、さらに平成24年4月1日付けで公益社団法人の認可を受け、臨床検査技師の職能団体としてだけでなく、広く県民の皆様の医療、公衆衛生の向上に努める公益性の高い団体としての活動を、これまで以上に行っていくことになり、現在も行ってまいります。本当にありがとうございます。

近年、医療を取り巻く環境は大きく変化しつつあり、少子高齢化の加速、それに伴う社会保障改革が求められ、増え続ける医療費の財源確保には国も改革をされております。その中で医療費の抑制等も考えられ、医療機関の効率化といった運営も大きく変化が求められることも起こってまいるかと思っております。

しかし、どのような状況になろうと、私たち臨床検査技師の根幹である質の高い検査を提供するという事は変わることはありません。そして医療DXが進んでいく中で、さらに質の高い検査を、より迅速に提供することが加速していくことと思っております。そのことをどのように受け止め、考え、行動することにより、専門職としての存在価値を高めていくことができると思っております。そのためには医療スタッフの一員として、専門性を生かしながらさまざまな職種の方々との密接に連携を取り、業務を行っていきけるようにしていくことが今後ますます重要になってくるかと思っております。

これまで諸先輩方が築き上げられた臨床検査技師という職域が、今後さらに発展し、県民、国民の皆様に充実した医療を提供していくには、当会の学術活動事業、精度管理事業を始め、全ての事業を通じて、会員の皆様に、より有益な情報を提供し、県内のさらなる医療の質の向上に努めていくことができるように私たち役員一同、日々努力してまいりたいと思っております。

今後とも皆様には大変お世話になりますが、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 創立70周年・法人設立40周年 記念式典 知事表彰 受賞

大津赤十字病院 大森 康 旨

滋賀県臨床検査技師会の創立70周年・法人設立40周年という記念すべき式典において、このような荣誉ある表彰を賜り、大変光栄に存じます。心の中では「まさか自分が!？」と驚いておりますが、せっかくの機会なので、しっかり喜ばせていただきます。私は長年にわたり、学術・精度管理の部門に携わってまいりました。臨床検査の正確性と信頼性を高めることは、診断や治療の精度を左右し、ひいては患者さんの命を守ることに繋がります。その責任の重さを胸に刻みながら、精度管理の向上や技術の発展に尽力してまいりました。気合を入れすぎて、時には自分の血圧まで測定したくなるほどの緊張感を持って仕事に取り組んでまいりました。

このたびの受賞は、決して私一人の力ではなく、これまで共に学び合い、支え合ってきた多くの同僚や指導して下さった先輩方、そして技師会の皆様のご尽力の賜物です。改めて、皆様に心から感謝申し上げます。

滋賀県臨床検査技師会は、70年という長い歴史の中で、検査技術の発展とともに歩んできました。これまで築かれてきた伝統を大切にしつつ、これからの時代に求められる新たな技術や品質管理にも柔軟に対応し、若手技師の育成にも力を注いでいきたいと考えております。とはいえ、若手の皆さんの吸収の早さに負けないよう、私も日々アップデートしていかねばと気を引き締めております。今の時代、検査機器もAI化が進んでいますが、「まだまだ人間の技師も負けていられません!」という気持ちで頑張りたいと思います。

最後になりましたが、素晴らしい式典を開催してくださいました滋賀県臨床検査技師会の皆様、そして日頃より私たち臨床検査技師を支えてくださる全ての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

今後も臨床検査の発展と医療の質の向上に貢献できるよう精進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

誠にありがとうございました。



## 第47回 滋賀県医学検査学会を終えて

学会長 小 森 敏 明



2025（令和7）年2月23日に長浜バイオ大学にて「第47回滋賀県医学検査学会」を開催しました。これまでの滋賀県医学検査学会の歴史の中で、長浜バイオ大学では初めての開催であり、参加人数は技師会員107名、賛助会員6名、学生7名、関連団体2名の計122名でした。

開催する数日前から大雪が降り、大学の周囲は雪が積もった状態でした。当日の朝も雪でJRが遅延していましたが、全面運休ではなかったため、開催が決定されました。しかし、開始時に演者が全員揃っておらず、発表順を変更しての運用になりました。都道府県が開催する学会はこれから広く活躍していく新人技師の最初の発表の場でもあります。緊張感の中で新人技師が発表し、中堅技師の座長が温かく見守りながら進行し、ベテラン技師が鋭い質問をするという展開で、とても実りの多い学会でありました。

特別講演では長浜バイオ大学・バイオデータサイエンス学科の清水正宏教授に「自己改変能力を有するサイボーグの実現をめざして」というテーマでご講演いただきました。カエルサイボーグ、かきこいクラゲ、歩く心臓ロボット、脳オルガノイド制御型ロボットなど、動画を交えながらの興味深い発表でした。サイボーグ型再生医療や医療IT機器産業などに繋がる内容で臨床検査分野とも親和性があり、未来の医療のイメージが膨らむ内容でした。

2024年7月から学会開催の会議を重ね、会場の下見や必要物品の準備、役員の役割分担などを進めていきました。学会当日は午後から「新型インフルエンザ等感染症を見据えた検体採取研修会（実地研修）」も大学の別の講義室で開催するため、学会と研修会を並行しての準備となりました。準備と運営に尽力くださった役員並びに関係者の皆様、雪の降る中、学会当日に参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。

## いぶき賞を受賞して

恩賜財団済生会滋賀県病院 新 井 未 来



この度は第27回いぶき賞を賜り、大変光栄に感じております。同時に名誉ある賞に恥じぬよう身の引き締まる思いです。選考委員の先生方、これまでご指導いただきました多くの先生方、職場の同僚に深く感謝申し上げます。

今回受賞の対象となった論文は、尿中にみられる薬物結晶が薬剤性腎障害の可能性を示唆する重要な成分であること、適切な報告と多職種連携の重要性について経験した症例に基づきまとめたものになります。私が一般検査を担当し始めた12年前には、尿検査で薬剤性腎障害の可能性を示唆できるとは考えが及びませんでした。一般検査に対する正しい知識が何も無いにも関わらず他の業務の片手間にできるものだと考えていたため、配属後しばらくの間は検査結果をただ報告するだけでした。しかし実際に一般検査を担当してみると、検査依頼目的や結果の解釈などわからない事ばかりで、自分の考えが間違っていたことに気づかされました。そんな折、当時の技師長から地域住民に向けた公開講座で尿検査について講義するよう指示され、この経験が転機となり一般検査に対する考え方、向き合い方を変えることとなりました。

初めの頃、学会や研修会の参加は自身の知識・技術向上を目的とした聴講が中心でしたが、滋賀県臨床検査技師会の学術部門に携わらせていただくことになってからは、座長や講師を務めることが主になってきました。とはいえ、全く経験のなかった私に機会を与え、かつ指導をしてくださった諸先輩方に支えられてきたからこそ今日があるのだと感謝しています。これまで多くの先生方に様々な機会を与えてもらってききましたが、これからは私がそのバトンを渡していく番です。若い力が様々な挑戦を通して成長し、追い越していく姿を心から応援したいと思います。

今回の受賞を励みに、今後も検査業務と後進育成、技師会活動に貢献することができるよう精進していきたいと思っております。この度の受賞に心より御礼申し上げます。

# 第47回 滋賀県医学検査学会を終えて

◆開催日時:令和7年2月23日(日)

◆会 場:長浜バイオ大学命江館2階大講義室1

◆担 当:第1地区



## 【開会式】

学会長 小森俊明(長浜バイオ大学)

## 【一般演題】

### ■臨床血液部門①

1. 現行試薬の販売中止に伴うレボヘムAPTTとの比較検討  
古川 慎(長浜赤十字病院)
2. フィブリノーゲン検査3法(Clauss,PT-derived,凝固波形解析)の相関と有用性  
森地 祥太郎(滋賀県立総合病院)

### ■臨床血液部門②

3. 帝王切開術前スクリーニングにて発見した血友病Cの一例  
森田 正登(大津赤十字病院 検査部)
4. 急性出血における血液データの検討  
東條 美紗(国立大学法人 滋賀医科大学)

### ■臨床免疫化学部門

5. 性能評価から得られたβHCG測定試薬の有用性  
奥村 秀太(公立甲賀病院)
6. 高クロール血症が診断の契機となった市販薬中毒の1例  
坂口 陽月(恩賜財団 済生会滋賀県病院 臨床検査科)

### ■臨床一般部門

7. 尿定性検査を用手法で行った際に発見した結晶成分について  
関口 涼子(地方独立行政法人 市立大津市民病院)
8. 抗生剤内服後、血尿を呈した小児の一例  
松田 哲明(大津赤十字病院 検査部)

### ■輸血細胞治療部門

9. 製剤入庫時の外観検査で確認しえた赤血球製剤の溶血  
山本 誉(恩賜財団 済生会滋賀県病院 臨床検査科)
10. 血液型Amの1症例  
神谷 美鈴(滋賀県立総合病院)

### ■臨床微生物部門

11. 大学内のトイレから分離されたESBL産生大腸菌と病院分離株との遺伝子型比較  
山口 曜(長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 フロンティアバイオサイエンス学科 臨床検査学コース)
12. 当院における結核菌の薬剤感受性について:2005-2019  
北 真知子(独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院)

### ■病理細胞部門

13. Mixed acinar-neuroendocrine carcinoma の一例  
西浜 瑞季(地方独立行政法人 市立大津市民病院)
14. 診断に細胞免疫化学が有用であった膀胱小細胞癌の一例  
土田 弘次(長浜赤十字病院)

### ■臨床生理部門

15. アブレーション治療後の医原性心房中隔欠損の残存により心不全をきたした一例  
山村 有希(市立長浜病院)

## 【第27回 いぶき賞 受賞講演】

「セフトリアキソン関連結晶による急性腎障害が疑われた成人症例」  
恩賜財団 済生会滋賀県病院 臨床検査科 新井 未来 先生

## 【特別講演】「自己改変能力を有するサイボーグの実現をめざして」

長浜バイオ大学 バイオデータサイエンス学科 教授 清水 正宏 先生

## 【閉会式】

実行委員長 坪井房幸 (長浜市立湖北病院)



# 公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会 令和7年4月～6月行事予定表

一般県民の参加  
歓迎します。

4月・

5月・

6月・

参加費無料

1 火		1 木		1 日
2 水	定例理事会	2 金		2 月
3 木		3 土	憲法記念日	3 火
4 金		4 日	みどりの日	4 水
5 土		5 月	こどもの日	5 木
6 日		6 火	振替休日	6 金
7 月		7 水	定例理事会	7 土
8 火		8 木		8 日
9 水		9 金		9 月
10 木		10 土		10 火
11 金		11 日		11 水
12 土		12 月		12 木
13 日		13 火		13 金
14 月		14 水		14 土
15 火		15 木		15 日
16 水		16 金		16 月
17 木		17 土		17 火
18 金		18 日		18 水
19 土		19 月		19 木
20 日		20 火		20 金
21 月		21 水		21 土
22 火		22 木		22 日
23 水		23 金		23 月
24 木		24 土	病理細胞部門	24 火
25 金		25 日		25 水
26 土		26 月		26 木
27 日		27 火		27 金
28 月		28 水		28 土
29 火	昭和の日	29 木		29 日
30 水		30 金		30 月
		31 土		

5月24日(土)

14:00 ~ 15:00



### 病理細胞部門

#### 日臨技生涯教育推進研修会

##### 第1回病理細胞部門研修会

内容：遺伝子関連検査の精度を左右する病理組織検体の取り扱い  
一病理を担当する技師が明日からできること一

講師：永谷 たみ 先生 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科/  
姫路赤十字病院)

会場：オンライン配信

参加費：無料

問合先：長浜赤十字病院 病理部 土田 弘次

TEL：0749-63-2111(内線4286)

令和7年5月中



### 臨床免疫化学検査部門

#### 第1回臨床免疫化学検査部門研修会

内容：救急検査関連(仮)

講師：元中 秀行 技師 (滋賀県立総合病院)

山本 孝 技師 (済生会滋賀県病院)

会場：未定

参加費：日臨技+滋臨技会員：500円

滋臨技のみ会員：500円

日臨技のみ会員および非会員：5,000円

その他医療従事者・学生：無料

問合先：地方独立行政法人 市立大津市民病院 一瀬 亮介

TEL：077-522-4607 (代表)

令和7年5月中



### 臨床生理部門

#### 日臨技生涯教育推進研修会

##### 第1回臨床生理研修会

内容：心電図について

講師：県内技師

会場：県内会場

参加費：日臨技会員 500円 滋臨技会員のみ 1,000円

滋臨技賛助会員 700円 非会員 5,000円

問合先：済生会滋賀県病院 臨床検査科 中島 辰也

TEL：077-552-1221(代表)

令和7年6月中

時間未定



### 臨床生理部門

#### 日臨技生涯教育推進研修会

##### 第2回臨床生理研修会

内容：呼吸機能検査について

講師：県内技師

会場：県内会場

参加費：日臨技会員 500円 滋臨技会員のみ 1,000円

滋臨技賛助会員 700円 非会員 5,000円

問合先：済生会滋賀県病院 臨床検査科 中島 辰也

TEL：077-552-1221(代表)



一般県民向けの講座です



医療従事者向けの講座です

※研修会予定表につきましては、変更することもありますので、詳細につきましては技師会ホームページ内の行事予定表でご確認ください。



## 公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会

事務局：地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部

滋臨技 HP <https://samt.securesite.jp>

滋賀県大津市本宮 2-9-9



詳細については、HP をご覧下さい

滋臨技 HP <https://samt.securesite.jp>



# 検体抽出液の共用化を実現

1回の検体採取で、アデノウイルスとStrepA  
2つの検査を行うことができます (咽頭ぬぐい液の場合)

- 抽出操作は簡便ワンステップ
- 抽出試薬の用時調製や静置時間は不要
- 痛みの少ないスポンジスワブ<sup>®</sup>を採用
- 反応時間は5分

体外診断用医薬品

承認番号 30500EZ00036000

アデノウイルスキット

## イムノキャッチ<sup>®</sup>-Adeno

咽頭ぬぐい液又は鼻腔ぬぐい液中のアデノウイルス抗原の検出  
(アデノウイルス感染の診断の補助)



体外診断用医薬品

承認番号 30500EZ00045000

A群β溶血連鎖球菌抗原キット

## イムノキャッチ<sup>®</sup>-Strep A

咽頭ぬぐい液中のA群β溶血連鎖球菌抗原の検出  
(A群連鎖球菌感染の診断の補助)



### ■キット構成

構成試薬	
反応容器	10個
検体抽出液	10本
付属品	
滅菌綿棒(咽頭用)	10本
フィルターチップ	10個
スタンド	1個

※「イムノキャッチ<sup>®</sup>-Adeno」および「イムノキャッチ<sup>®</sup>-Strep A」は、  
同じキット構成と操作方法です。

※「イムノキャッチ<sup>®</sup>-Adeno」の鼻腔用滅菌綿棒は別売品です。

### ■製品概要

製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
イムノキャッチ <sup>®</sup> -Adeno	10回分	室温保存	12カ月間	E-ET07
イムノキャッチ <sup>®</sup> -Strep A	10回分	室温保存	12カ月間	E-ET08

本製品の使用上又は取扱い上の注意については、最新の「電子化された添付文書」をご参照ください。

製造販売元



栄研化学株式会社

〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地

0403 AK

2023年12月作成

## 令和6年度 公衆衛生事業功労者表彰

### 令和6年度 公衆衛生功労者知事表彰を受賞して

琵琶湖大橋病院 足立 徹

この度は、知事表彰を受賞することができたことは大変に光栄に思います。

この栄誉はひとえに理事の皆様のご支援によるものと、あらためて感謝申し上げる次第でございます。今後も会員様のご期待に背かぬよう、なお一層の努力を重ねる所存でございます。なにとぞ引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

### 令和6年度 公衆衛生事業功労者表彰受賞に際し

大津赤十字病院 守安 岳 征



この度、公益社団法人滋賀県臨床検査技師会のご推薦により「令和6年度 公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞させていただき大変光栄に思っております。

これもひとえに、ご推薦いただきました大本会長はじめ、役員の方々、会員、職場、家族と多くの方々のご指導、ご鞭撻、ご理解のおかげと感謝しております。

私はこの職に就いた時より、先輩や、同僚に恵まれ地域の健康フェスや学会、研修会などに参画させていただき、非常に多くのことを学ばせていただきました。また、法人の役員になり地域の公衆衛生活動には積極的協力するように取り組んでまいりました。

現在は役員を退任いたしました。が、微力ながら裏方として会の発展に協力していく所存でございます。引き続き皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

最後に滋賀県臨床検査技師会の益々のご発展と、会長をはじめとする役員、会員の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました

### 公衆衛生事業功労者 一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰を受賞して

近江八幡市立総合医療センター 西村 精 児



この度、公益社団法人滋賀県臨床検査技師会のご推薦により「令和6年度公衆衛生事業功労者 一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰」を受賞させていただきました。このような賞をいただけたのも、近江八幡市立総合医療センターの皆様の理事会活動へのご理解・ご協力をいただけた事によるものであります。また、大本会長をはじめ理事の皆様、会員の皆様のご支援ご指導のおかげと感謝いたします。

表彰式は東京で行われるとのこと。随行者も1名参加出来ると聞き、折角なので家族旅行とさせていただきます。晴れの舞台に参加させていただき、非常に喜ばしいことでした。自分自身が模範とはほど遠いと自覚しておりますので、継続して目標のひとつに挙げておこうかと思っております。

これからも当技師会の更なる発展に微力ですが、尽力してまいりたいと思います。

本当にありがとうございました。



## 令和7年度（2025年） 滋賀県臨床検査技師会 事業計画

※詳細はHPを参照願います

<b>事務部</b>	<p>適正な法人運営が行われるよう、各種事項の管理・運営を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度定期総会の開催 ・理事会の開催 ・常務理事会の開催</li> <li>・法人に関する各種契約・申請・報告に関することの管理 ・技師会会議室の管理・運営</li> <li>・会員・関連団体の慶弔に関すること ・関連団体との連帯強化</li> <li>・タスク・シフト実技講習会に関すること ・その他、法人運営に関すること</li> </ul>
<b>組織部</b>	<p>会員管理は元より、新入会員研修、青年部会、施設代表者会、厚生事業などを通じ、会員の交流を図りながら情報交換・情報共有の場とし組織強化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員管理 ・新入会員研修会の開催 ・青年部研修会の開催 ・施設代表者会の開催</li> <li>・地域ニューリーダー育成研修会の開催 ・永年会員表彰 ・未加入技師への入会促進</li> <li>・厚生事業の開催 ・地区懇</li> </ul> <p>【青年部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入会員研修会の参画 ・青年部研修会の開催 ・青年部部会の開催</li> </ul>
<b>渉外部</b>	<p>当会の活動にご理解・ご賛同いただける、企業・団体様へ「賛助、協賛、広告」を呼びかけ協力をお願いする。 また、医療関連団体との交流を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関係の企業への賛助会員への加入の推進 ・関係団体との連携に関すること</li> <li>・医療関係の企業への会誌（滋臨技だより）広告の協力依頼を図る</li> <li>・医療関係の企業への滋賀県医学検査学会の学会賛助並びに講演集の広告の協力依頼を図る</li> <li>・その他渉外に関すること</li> </ul>
<b>広報部</b>	<p>講演会・研修会などの案内、臨床検査に関すること、理事会など各種活動報告、会員動向、求人に関すること、会員からの寄稿・投稿などを、会誌・ホームページを通じ掲載・配信する。メーリング会員の登録促進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌「滋臨技だより」の発行 ・研修会予定表の発行 ・ホームページによる広報活動</li> <li>・ホームページ委員会の開催</li> </ul>
<b>公益活動部</b>	<p>公益社団法人として、臨床検査の知識の普及・啓発を行い県民の健康づくりへの意識を高揚させるため、各地域の健康フェスティバルに参加する。また、日本臨床検査技師会の「臨床検査と健康・普及啓発月間」の11月には「検査と健康展」の地方会場として開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康フェスティバルへの参画 ・滋賀レイクファミリーボランティアへの協力</li> <li>・「検査と健康展」の開催 ・滋賀県がん医療フォーラムへの協力</li> </ul>
<b>精度管理部</b>	<p>滋賀県内医療の均てん化と向上を目的に、臨床検査精度管理を実施する日臨技の精度管理システムJAMT-QCを活用した精度管理事業を継続する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精度管理部部門長会議の開催 ・各部会精度管理報告会の開催</li> <li>・令和7年度臨床検査精度管理報告会の開催 ・各部会別事業計画の実施</li> </ul>
<b>学術部</b>	<p>臨床検査技師の生涯教育を推進するために、講演会・研修会・学会を開催する。基礎的および専門的な知識・技術の習得に加えて、タスク・シフト/シェア、および、多職種連携を見据えて今後さらに活躍できるスキルを持ち合わせた臨床検査技師の養成を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術部門長会議の開催 ・滋賀医学検査編集委員会会議の開催</li> <li>・学術論文雑誌「滋賀医学検査」Vol.16の発刊 ・各学術部門活動の実施</li> <li>・第48回滋賀県医学検査学会（第2地区担当）の開催</li> </ul>

## 令和7年1月定例理事会報告

開催日：令和7年1月8日（水）17：00～

開催場所：野洲事務所

出席者：大本、足立、梅村、山藤、谷、菅沼、藤村、  
三雲、長谷川、西尾、曾川、樋口、近澤、  
小川、松田、北、橋本、木下、阪口監事

欠席者：吉田監事

### <報告事項>

- ・令和6年度日本公衆衛生協会会長表彰に西村前理事が決定した。
- ・令和6年度厚生労働大臣表彰に守安前理事が決定した。

### <協議・承認事項>

- ・組織部補佐として木下理事を承認した。
- ・青年部木下愛氏（滋賀医科大学附属病院）から加藤遼氏（同施設）への交代を承認した。
- ・吉田監事を名誉会員とすることを承認した。
- ・郵送費用等の価格上昇に対応する為、令和6年度広報部補正予算案を承認した。

### <決議事項>

- ・当会の入会数1名、退会数4名が理事会で議決された。

## 令和7年2月定例理事会報告

開催日：令和7年2月5日（水）17：00～

開催場所：クサツエストピアホテル

出席者：大本、足立、梅村、山藤、谷、菅沼、  
藤村、三雲、長谷川、西尾、曾川、  
樋口、近澤、小川、松田、北、橋本、  
木下、吉田監事

欠席者：阪口監事

### <報告事項>

- ・1/24 日臨技賀詞交換会に大本会長、藤村理事出席。
- ・1/25 日臨技理事会に藤村理事が出席。
- ・1/25 日臨技連盟執行委員会に藤村理事（オブザーバー）出席。
- ・1/31 新しい公益法人制度説明会に大本会長、山藤事務局長出席。
- ・2/2 令和6年度滋賀県病院大会に大本会長出席。
- ・野洲会議室の賃貸借契約更新が完了した。

### <協議・承認事項>

- ・令和6年度血液製剤適正使用研修会の後援を承認した。
- ・第47回sysmexセミナーの後援と当会ホームページへの掲載を承認した。
- ・令和7年度事業計画案および予算案について承認した。
- ・令和7年度より滋臨技だよりの発行回数を4回とすることを承認した。

### <決議事項>

- ・当会の入会数3名、退会数3名が理事会で議決された。
- ・令和7年度の事業計画（案）、予算（案）が理事会協議にて議決された。

## 会 員 動 向

【令和7年度 2月28日現在】

会員数	入会数 (1月1日～2月28日)	退会数 (1月1日～2月28日)
729名	3名	8名

なお、変更等がございましたら速やかに日臨技会員の方はJAMTISにて、滋臨技のみ会員の方は変更用紙（HPより取得可能）にて対応いただきますようお願いいたします。

2025年2月23日

## 新型インフルエンザ等感染症を見据えた 検体採取研修会(実地研修)に参加して

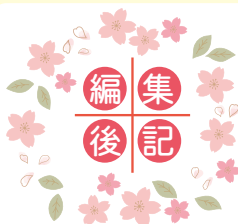
彦根市立病院 臨床検査科 黒川 陽子

次期新興感染症の感染拡大時に備え、適切な検体採取方法を再確認するとともに、滋賀県感染予防施策についての知見を深めたいと考え、本研修会に参加させていただきました。

最初に昨年改訂された滋賀県感染症予防計画の概要について説明を受け、軽症患者や濃厚接触者を対象とした「地域検査センター」が設置された場合、県からの要請を受けて我々臨床検査技師が検体採取業務を担う可能性があること、そのためには正しい知識や適切な手技を身につけた技師を育成する必要があることを再認識しました。

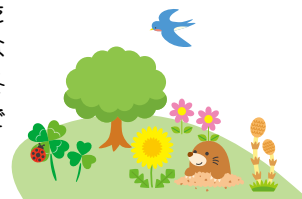
医師より解剖学的鼻咽頭の位置および検体採取のコツと注意点の説明を受けた後、感染管理認定看護師の指導の下PPE(个人防护具)を装着して検体採取を実践しましたが、患者が受ける苦痛を改めて体験することで、スワブ挿入のスピードを見直す良い機会となりました。経験者が多く実践はスムーズに終了しましたが、患者を対象とした実際の採取に関してアドバイスを求める意見が多く上がり、現在も鼻咽頭の検体採取を臨床検査技師が実践し続けている県内施設は数施設しかないと知りました。

経験上、患者の年齢や状態に合わせた工夫は必要不可欠であり、実践以外で身につけることは容易くありません。来る感染症有事に備え、今後も知識や手技の維持に努めていきたいと考えます。



やっと暖かくなりホッとします。2月末に開催された滋賀県医学検査学会は湖南方面も大雪で、一時はどうなるかと思いながらも到着できました。行動力が落ちる冬季は嫌いです。と言いながら夏季になれば暑くて我慢できなくなると思います。人間って自分勝手ですね。

広報部 三雲



### 第318号滋臨技だより

2025年4月1日

発行所：滋賀県臨床検査技師会

編集者：三雲 明弘

橋本 里美

梅村 茂人

印刷：近江印刷株式会社

技師会では、皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

事務局 地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部  
滋賀県大津市本宮2-9-9

E-Mail [samtjimukyoku@samt.jp](mailto:samtjimukyoku@samt.jp)